

沖縄を知る！ 特別授業

高校野球でちむどんどん テレビの前での一体感が 会社の未来を明るくする！



選手の一球一打に大盛り上がり。応援を通して職場に一体感が生まれます。

教えてくれる人



松原 優 先生

香川県出身。関西学院大学商学部助教。琉球大学観光産業科学部産業経営学科卒業。東京都立大学大学院経営学研究科博士課程修了。消費者行動を専門とする。

高校野球と聞けば ウチナンチュの心が躍る

全国的にも有名な沖縄県民の高校野球好き。勝てば夜の繁華街は盛り上がり、スーパではお祝いセールが開催されると、仕事もこなしながらもテレビやパソコンの前で応援するというのは沖縄では「あるある」の光景です。この現象について研究をし、論文も発表している関西学院大学の松原優先生にお話を伺いました。

ました。あまり見たことがない光景でとても印象に残っています」と話します。松原先生はこれまで琉球ゴールデンキングスファンを対象にした研究も行っていて、ファンコミュニティに対する所属感が強くなることで、ウェルビーイング※につながるなどの研究結果が出たとのこと。それと同じ現象が、甲子園大会の沖縄県代表チームへの応援によっても起こり得るといいます。



甲子園の試合中は車が少なくなることでも有名。県警の調べでも交通量減少の結果が出ている。

応援の一体感が プラスの効果をもたらす

仕事をしながら県代表校を応援するという行動を、松原先生は「人は『内』と『外』の境界をはっきりさせることで、仲間意識が強まると言われています。職場で一緒に応援することは、まさにその『内』と『外』の線引きとなり、その結果、組織内の結束力や

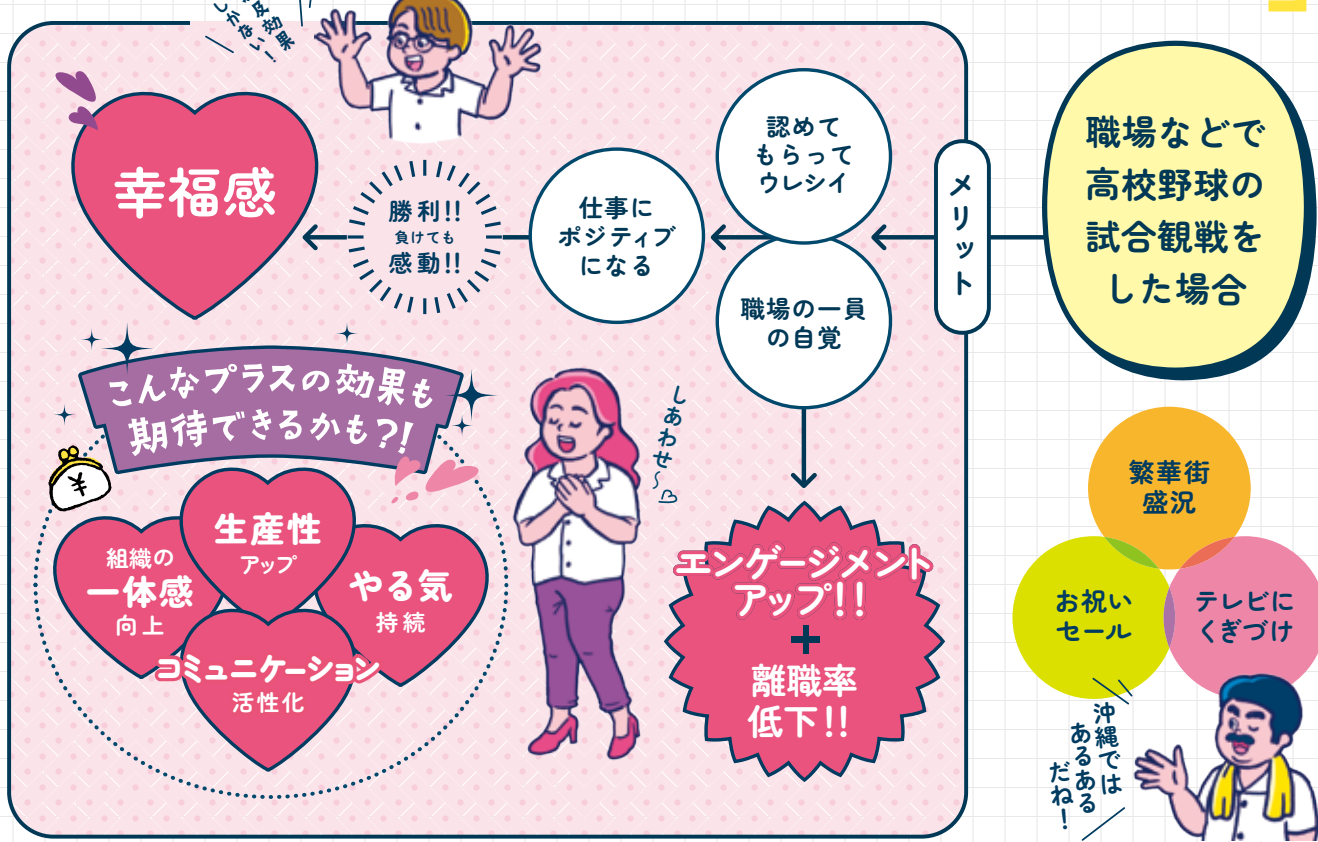
集団への一体感が高まることは十分に考えられます」と話します。つまり、ともに応援することで社員同士のコミュニケーションを活発にし、職場への帰属意識やエンゲージメントを育み、ひいては離職率の低下にもなり、社員のウェルビーイングにもつながる——そんなポジティブな相乗効果を生む可能性があるのです。



高校野球熱戦の舞台となる阪神甲子園球場。2025年夏は沖縄尚学高校が初優勝した。

もはや高校野球とは、沖縄県民を幸福でいっぱいしてくれるだけでなく、社会や職場にも好影響を与える存在と言えるでしょう。県民一体となつて応援することで、計り知れないほど大きな効果を期待できるかもしれません。

試合観戦の幸福感による好影響



沖縄ではあるあるだね!

今回のまとめ

高校野球の応援が
県民の
活力になる!

高校野球における県民の熱狂的な応援は一つの文化として根付いており、癒しや誇りの感情を喚起する一時的な効果に加え、幸福感による生産性向上といった、計り知れないほど大きな波及効果を生む可能性があることが分かりました。県民が一丸となって応援するほど良い効果が生まれそうです。